

■下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXかE-mailで、11月20日(火)までにお申込み下さい。
申込書確認後、弊社から請求書等をお送りいたしますので、到着次第、受講料をお振込み下さい。

■1社2名でご受講の場合は、お手数ですが申込書をコピーしてご利用下さい。
また、連携したグループでお申込みの場合は、連携先企業名をご記入下さい。

【送り先】 FAX : 042-770-9077 or E-mail : sier-info@sic-sagamihara.jp

法人名	氏名(フリガナ)
役職	年齢
住所 〒	
TEL	FAX
E-mail	URL
システム自動化に関する経験・得意分野 (Sier 歴: 年)	
応募の動機	
今回の養成講座で学びたいこと・期待すること	
連携先企業名	

※個人情報の取り扱いについて ・ご記入いただいた個人情報は、園さがみはら産業創造センターの事業に関する情報提供と参加者募集のご案内、ご連絡に利用させていただきます。
・個人情報は、取扱目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。

募集要項 ★相模原市外の企業様も応募できます★

【会 期】 平成30年12月5日(水)～平成31年2月15日(金) <全9回>

【場 所】 さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室 他

【対 象 者】 ロボットSier(システム・インテグレータ)のノウハウを学びたい若手エンジニア
自動機・FA等の開発エンジニア、またはロボットユーザー企業のエンジニア

【受 講 料】 税別 70,000 円 (受講申込後、別途ご案内致します。)

【募 集 人 数】 16 名 (1 社から 2 名までの参加可) *先着順

【主 催】 相模原市・株式会社さがみはら産業創造センター

【お問い合わせ】 さがみはらロボット導入支援センター(株式会社さがみはら産業創造センター)
担当: 佐々木、樽川、安藤
〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21
Tel : 042-770-9119 / Fax : 042-770-9077 / Mail : sier-info@sic-sagamihara.jp

アクセス



〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21



Sierとしての底力をUP!

ロボット システムインテグレータ 養成講座 2018

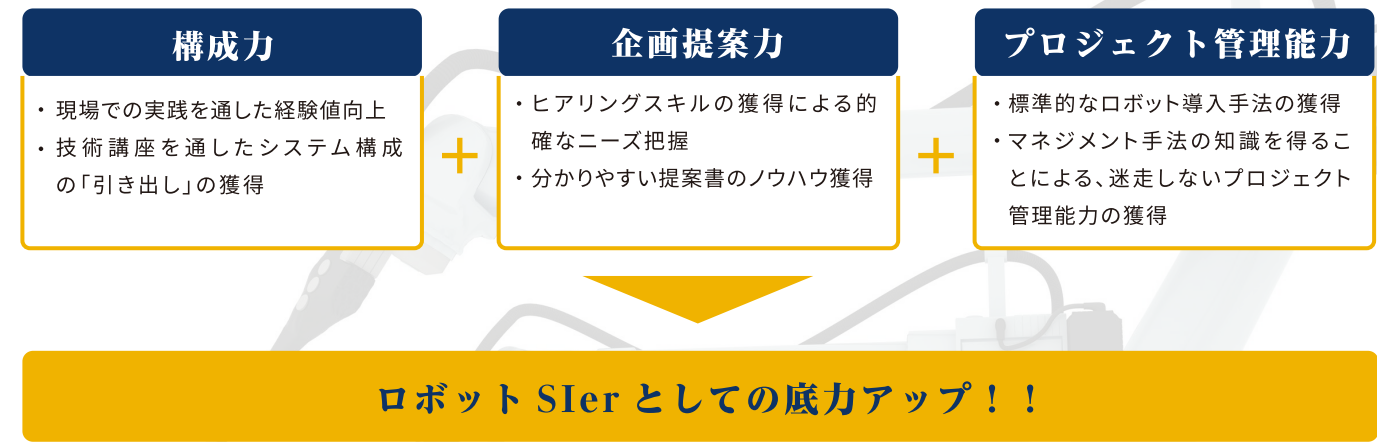
Sagamihara Robot
System Integrator Training Program

カリキュラム

前期	平成30年 12月5日(水) ～ 平成30年 12月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・「戦略的ヒアリング力とプレゼン力」 ・「ロボットシステム導入を成功に導くプロジェクトマネジメント」講座 ・グループワーク事前説明
中期	平成31年 1月23日(水) ～ 平成31年 1月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業用ロボット導入手順」講座 -ロボット導入による社内イノベーション- ・「ロボットシステム導入手順(RIPS)」講座 -工程・ドキュメントの標準化について- ・グループワーク中間発表 ・ロボットSierのための安全講座
後期	平成31年 2月13日(水) ～ 平成31年 2月15日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・公的研究開発プロジェクト提案にあたってのポイント ・最先端画像処理講座 -知能ピッキングロボット革命- ・工場見学 ・グループワーク最終発表

狙い・目的

- 第2回目となる今回は、昨年度の内容をベースに受講者意見などを取り入れたものに進化させ、ロボットSierの広範囲にわたる業務プロセスについて効果的に学べる場をご提供します。
- 受講いただくメインターゲットを「若手エンジニア」とし、今後のロボットSierの中核人材を育てます。
 - 日程は、復習・グループワークのインターバルを挟み3日×3フェイズ【計9日間】とし、若手エンジニアにじっくり学んでいただきます。
 - ユーザーの課題解決を図るシステム提案について、中間発表で外部評価の時間を設けることで、顧客との折衝を疑似体験し顧客に最適なシステムの提案手法を学びます。



ロボットSierの業務プロセス

プロジェクトの進め方や技術・手法を学びながら、ユーザーの課題解決を図る **超実戦型プログラム!**



各講座はグループワークを中心に構成されており、参加者同士の新たなネットワークの醸成が期待できるほか、評価の高い提案はユーザー企業に採用される可能性もあります。

カリキュラム

前期	
平成30年 12/5 (水) 10:00-17:00	(株)スタンコミュニケーションズ 松尾由紀子氏 「戦略的ヒアリング力とプレゼン力」
平成30年 12/6 (木) 10:00-17:00	アイシンク(株) 山本礼己氏 「ロボットシステム導入を成功に導くプロジェクトマネジメント」講座
平成30年 12/7 (金) 10:00-17:00	グループワーク事前説明
各グループ検討期間	
中期	
平成31年 1/23 (水) 10:00-17:00	(株)アラキエンジニアリング 荒木弥氏 「産業用ロボット導入手順」講座 -ロボット導入による社内イノベーション-
平成31年 1/24 (木) 10:00-17:00	ミツイワ(株) 深瀬哲也氏 「ロボットシステム導入手順(RIPS)」講座 -工程・ドキュメントの標準化について-
平成31年 1/25 (金) 10:00-17:00	日本認証(株) 柄尾昌洋氏 ロボットSierのための安全講座
各グループ検討期間	
後期	
平成31年 2/13 (水) 10:00-17:00	東京大学名誉教授 佐藤知正氏 公的研究開発プロジェクト提案にあたってのポイント
平成31年 2/14 (木) 10:00-17:00	KyotoRobotics(株) 徐剛氏 最先端画像処理講座 -知能ピッキングロボット革命-
平成31年 2/15 (金) 10:00-17:00	工場見学
平成31年 2/15 (金) 10:00-17:00	グループワーク最終発表

講師



株式会社スタンコミュニケーションズ
代表取締役
松尾 由紀子 氏

代表取締役の松尾由紀子氏は、フリーアナウンサー、記者アナウンサーとしての経験から、コミュニケーション、プレゼンテーションを中心に経営者やビジネスマン向けの個別講座や、セミナー講師などを数多く務めている。



アイシンク株式会社
PM系講座講師
山本 礼己 氏

大手電機メーカーにてプロジェクトマネジメント・オフィス(PMO)に従事。金融システム・公共システムの構築に幅広く関わる中、組織のプロジェクトマネジメント体系の構築、実施、評価の実務を担当。PMの育成にも携わる。また、プロジェクトの一員としてプロジェクトマネジメントの実践にも努めてきた。アイシンク株式会社入社後はPM系講座の講師を担当。米国PMI®認定PMP®



株式会社アラキエンジニアリング
代表取締役
荒木 弥 氏

浜松市の楽器製造会社に入社後、生産技術部にて仕上げ加工ロボットの開発に従事。幅広い知識・経験と技術のなかでロボットシステムエンジニアリング業務に取り組んできた経験から2013年6月にアラキエンジニアリングを設立。中小企業への産業用ロボット普及活動と「バリ取り〜研削〜研磨」等の仕上げ作業工程改善及び自動化に対する技術支援に従事する。



ミツイワ株式会社
深瀬 哲也 氏

ICTトータルカンパニー。創業以来50年以上に遡り実績を積み重ねたICTサービスおよびFAシステムの導入をベースに、FAにおけるロボットシステム導入プロセス標準を策定。経済産業省および日本ロボット工業会では、このRIPSをロボットシステムの導入標準と定めている。



日本認証株式会社
SA事業部 教育事業部 部長
柄尾 昌洋 氏

長岡技術科学大学機械システム創造専攻修士卒業。在学時より研究として機械安全に取り組み、学内ベンチャーも立ち上げた。その後、外資系コンポーネントメーカーの営業を経て、日本認証株式会社、機械安全に関する講習会講師を担当。国内外で年間50回以上の講習会/セミナーの講師を実施。コンサルタントとして製造現場の個別課題の解決にも対応。



東京大学
名誉教授
佐藤 知正 氏

東京大学大学院工学系研究科博士課程終了後、東京大学先端科学技術研究センターや工学系研究科機械情報教授などを歴任。日本ロボット学会会長を務めるなど、長年にわたりロボット研究やロボットの社会実装に携わっている。



KyotoRobotics株式会社
代表執行役社長
徐 剛 氏

大阪大学大学院基礎工学部研究科制御工学博士課程修了・工学博士。立命館大学・情報理工学部で教鞭をとる傍ら、2000年に株式会社三次元メディアを学内ベンチャーとして立ち上げ、産業用ロボットに「ランダムピッキング」を可能とする世界初の「三次元ビジョンセンサ」を開発するなど、最先端の技術力を誇る。2018年、Kyoto Robotics株式会社に社名変更。



第1回養成講座・受講者の声

<p>業種：Sier 役職：経営者 年齢：40代</p> <p>中小企業は設計者でもユーザーと話をする機会が多く、ヒアリング講座は社員教育としても良いと感じた。</p>	<p>業種：制御設計 役職：エンジニア 年齢：40代</p> <p>通常ある程度仕様の決まったものをこなす業務が中心なので、上流工程での仕様定義の部分に関われたことは非常に参考になった。</p>	<p>業種：ロボットメーカー 役職：担当 年齢：20代</p> <p>講座内での交流を通して、実際のビジネスでも案件に関してのやり取りを始めた。</p>	<p>業種：商社 役職：営業 年齢：30代</p> <p>ユーザーの課題とそれに対する提案内容を解説いただいた導入事例は非常に参考になった。</p>
--	---	--	--